

「放課後子ども教室だより」

No. 9

発行：東北教育事務所 2014. 11. 12

ほばらっ子クラブ・伊達わくわく広場訪問

放課後子ども教室訪問

伊達市には、3つの放課後子ども教室があります。3つの教室とも地域の実情やニーズに応じて特色ある活動をしています。今回訪問した「ほばらっ子クラブ」は、特別支援学校または特別支援学級と通常学級の児童と一緒に活動している放課後子ども教室です。また「伊達わくわく広場」は、子どもたちの体験を重視した様々な活動プログラムを実施しています。

ほばらっ子クラブ

伊達市（10月24日）



自由遊びの様子

ほばらっ子クラブは、保原中央交流館の和室を利用して実施しています。特別支援学校または特別支援学級と通常学級の児童と一緒に活動している放課後子ども教室です。活動メニューを特には決めずに、子どもたちの自由遊びを中心に活動しています。子どもたち同士またはスタッフとのふれあいを大切にしています。広々とした和室で、ボール遊びをしたり、鬼ごっこをしたり、読書をしたり、お絵かきをしたり、元気いっぱい活動しています。口コミ等で少しずつ参加人数が増え、保護者のネットワークも広がりつつあります。

伊達わくわく広場

伊達市（10月31日）

伊達わくわく広場は、伊達中央交流館を利用して火曜日と金曜日に実施しています。普段はわくわく広場専用の部屋で活動していますが、ホールや研修室を利用して遊ぶこともできます。訪問当日は、学習と自由遊びを行いました。教室では“マンカラ”というゲームが流行っており、子どもたちは夢中になって友達と対戦を楽しんでいました。順番に自陣のおはじきを動かしていき、無くなると勝ちになるというゲームです。年齢に関係なくできて、とても楽しいゲームでした。多彩な才能を持つスタッフがアイデアを出し合い、子どもたちの豊かな放課後の時間を支えています。



わくわく広場の様子